

科目名	施設見学 1								年度	2024
英語科目名	Visit to institution 1								学期	後期
学科・学年	柔道整復科 1 年次		必／選	必※	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	有山敦士、小西裕司、青木伊之、宮本功三、後藤晃弘、杉本知		教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）		
【科目の目的】										
交流などからコミュニケーション能力を養い、医療関係業種等を理解することで今後の学に繋げる。										
【科目の概要】										
様々な施設を訪問し社会人として見分を広めます。										
【到達目標】										
患者を守り、患者を傷つけず、医療従事者の使命を全うするための知識の一つとして社会生活とのかかわりを各施設で学ぶのが目標である。										
【授業の注意点】										
医療人としてのキャリア形成の観点から、演習見学中の私語や態度ならびに服装などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提としたマナーで見学に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位の履修ができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック評価	レベル5 優れている		レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標A	様々な業種について完全に理解している。		様々な業種について大体理解している		様々な業種について部分的に理解している。		様々な業種についての理解がやや不足している。		様々な業種について理解していない。	
到達目標B	催事の運営準備について完全に理解している。		催事の運営準備について大体理解している		催事の運営準備について部分的に理解している。		催事の運営準備についての理解がやや不足している。		催事の運営準備について理解していない。	
到達目標C	催事における来場者への誘導について完全に理解している。		催事における来場者への誘導について大体理解している		催事における来場者への誘導について部分的に理解している。		催事における来場者への誘導についての理解がやや不足している。		催事における来場者への誘導について理解していない。	
到達目標D	催事における来場者への案内について完全に理解している。		催事における来場者への案内について大体理解している		催事における来場者への案内について部分的に理解している。		催事における来場者への案内についての理解がやや不足している。		催事における来場者への案内について理解していない。	
到達目標E	人体の構造と機能について完全に理解している。		人体の構造と機能について大体理解している		人体の構造と機能について部分的に理解している。		人体の構造と機能についての理解がやや不足している。		人体の構造と機能について理解していない。	
【教科書】										
無し。										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
出席状況と課題を総合的に評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		施設見学 1				年度	2024
英語表記		Visit to institution 1				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	学内施設	様々な学科と交流する。	1	学内行事	学内行事に参加し、他学科との交流等をはかる。	3	
2							
3							
4							
5	医療関連施設	医療関連業種や人体の構造を学ぶ。	1	見学実習	医療関連施設等を見学し、医療分野の理解を深める。	3	
6							
7							
8			1				
			2				
			3				
9			1				
			2				
			3				
10			1				
			2				
			3				
11			1				
			2				
			3				
12			1				
			2				
			3				
13			1				
			2				
			3				
14			1				
			2				
			3				
15			1				
			2				
			3				

評価方法：1. 小テスト、36. パフォーマンス評価、3. その他
 自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
 備考 等